

# 新機一転

東海総合通信局長  
よしたけ ひさし  
吉武 久氏



昭和40年生まれ、山口県出身。63年4月、郵政省入省。平成3年7月、人事院長期在外研究員(米国)。11年7月、郵政省大臣官房総務課組織再編準備室室長補佐。28年6月、総務省北陸総合通信局長。30年7月、総務省九州管区行政評価局長。令和元年7月から現職。

## Society5.0の実現を 職員の活躍を考えるのが役目

**【名古屋】**名古屋の勤務は初めてです。当地の印象は思っていた通り「活気がある」「景気がいい」でした。指標等では最近「拡大している」から「緩やかに拡大」と変わったようですが、依然活力があるように思えます。

**【あくまでも仕事の一つ】**父親が公務員でしたので、職業の1つとして特に感じるものはありませんでした。実際に選んだのは大学4年の夏。都銀に内定が出ていましたが、国会・官庁街では何が起きているのかを知りたくなり、内定を辞退して、翌年試験を受けて入省に至りました。

**【思い出に残る仕事は】**省庁再編・特殊法人改革の一貫でNHKの経営委員の国会同意人事が俎上(そじょう)に。再編の混乱もあり放送行政局も手一杯。前年まで放送を担当していた私が1人で内閣法制局へ赴くことに。放送法定経緯まで遡り説明、事なきを得ました。

**【生活リズム】**夫婦共働きで、私の方が早く帰れることもあったので、料理は自信があります。今は単身赴任ですが、食事に出るより家で食べ

る方が楽です。買い出しや献立を考えるなど生活のリズムにもなっています。最近、よく作る料理はラタトゥイユ。赤と黄色のパプリカ、ズッキーニ、ナス、ペコリス、ベーコンをオリーブオイルで炒め、コンソメとトマト缶で煮込めば出来上がり。彩りもよく気に入っています。

**【抱負】**他の局長さんも同じだと思いますが、「職員の活躍」を考えるのが私の役目だと思っており、それに尽きます。

目の前の仕事としては、Society5.0の実現。5G、ICT/IoTを社会での実装を進めることが大きな課題です。名古屋はモノづくりの盛んな地域で、自動車や鉄道も身近に多くあります。令和の時代は「移動」「交通」が「情報を実装」する時代です。5G、CASE、MaaS(Mobility as a Service)をテーマにこれからどうなるを読み解くセミナーを、この分野での第一人者である須田義大(よしひろ)東京大学教授・モビリティ・イノベーション連携機構長をお招きして2月に開催します。